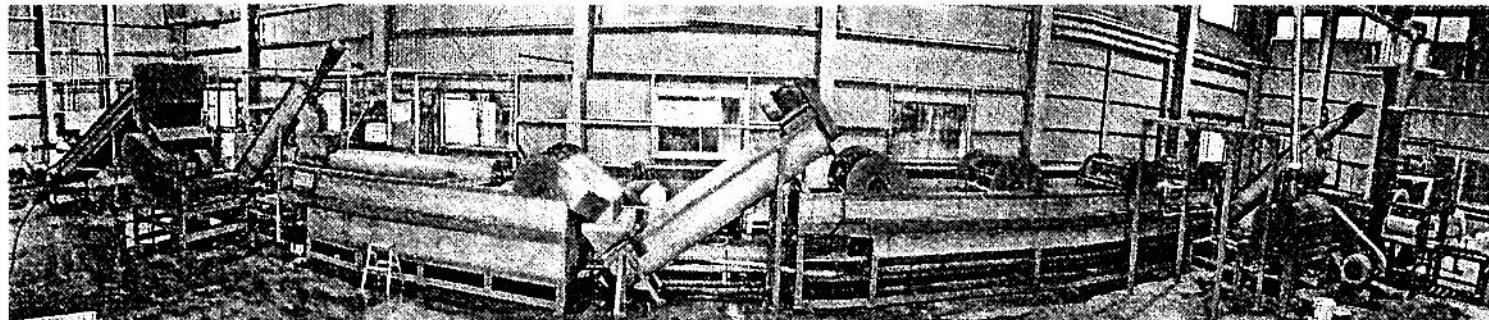


三功 再生ごみ袋が松阪市指定に 廃プラのループR確立

新規「ラ破碎洗浄システム」



再生ごみ袋にて日本に戻す
「廃プラのループ」事業をスタートした。今年3月には、三重県松阪市から「指定ごみ袋事業者」の認定を受け、5月からは本格販売を行っている。

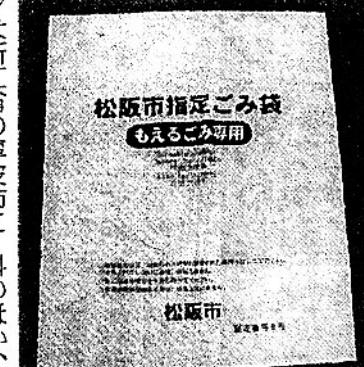
同社の廃プラリサイクル事業では、97年から選別物の有価販売を開始。次に廃プラの「リサイクルルーザイクル化」に成功した。今回発売した「再生ごみ袋」は、再生ボリエチレンを15%使用したもの。新實商店(愛知県岡崎市)、西山商店(名古屋市)、明輝クリーナー(愛知県豊橋市)と4社共同で取り組んでいる。

PETフレー

(三重県津市、片野宣源)みの循環システム之社長)は、廃プラを構築で実績を持つ三功破碎・洗浄・脱水・圧縮梱包して出荷し、中国工場で再生ごみ袋にして日本に戻す「廃プラのループ」事業をスタートした。今年3月には、三重県松阪市から「指定ごみ袋事業者」の認定を受け、5月からは本格販売を行っている。

同社の廃プラリサイクル事業では、97年から選別物の有価販売を開始。次に廃プラの「リサイクルルーザイクル化」に成功した。今回発売した「再生ごみ袋」は、再生ボリエチレンを15%使用したもの。新實商店(愛知県岡崎市)、西山商店(名古屋市)、明輝クリーナー(愛知県豊橋市)と4社共同で取り組んでいる。

松阪市の指定ごみ袋に認定された再生袋



定を得られる」とポイントを語る。

日本国

内での廃

プラリサ

イクル事

業では、

RPF原

クは浙江省の寧波市に

ある織維工場へ向けて

毎月約40tを輸出。綿

の原料として使用され

る。PSも毎月約20t

は上海の製袋工場に出

却。RPFも自社内工

場の洗浄施設で使用す

るRPFボイラーで燃

料として利用し、余つ

たRPFは製紙工場に

原料として利用し、再

生ごみ袋を製造する

とともに三重県下で新た

に指定袋を計画してい

る自治体向けに再生ご

み袋に加工し、販売し

ていく計画だ。PPと

PEの中国への輸出量

は合計すると毎月約10

tとなる。中国の製造

工場と直接取引をする

ことで、資源の持続可

能性が確保され、排出

者への信頼が高まる。

リーマンショック時も

直接取引の強みから輸

出は止まらなかつたと

いう。

同社の片野社長は「好況時、輸出業者が高く買わせていると、逆に市況が低下すると価格が高いところから切られる。現地の製造工場との直接取引なら極端に高くならないが安

なった。」